

学校行事で活用する ～郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度～

山口市立仁保中学校 林 秀樹

1 本場面におけるポイント

- 敬老会で生徒会長が発表する作文を聞く。
地域のお年寄りが地域の発展のために尽力されたことへの感謝の気持ちや今後の長寿を願う気持ちを、生徒会長が地区敬老会で発表することになり、リハーサルを兼ねて前日に全校生徒の前で読む。
- 全校生徒で「地域に対する考え」をまとめ、作文を書く。
全校生徒で地域の大切さについての作文を書き、「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」に応募する。

2 授業の実際

- 1 主題名 ふるさとの発展のために
- 2 ねらい

地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

これまでの地域の方との交流活動を通して感じた生徒の気持ちや考えを知り、自己有用感や地域貢献をしようとする気持ちを育む。

3 展開

(1) 導入

ねらいを提示し、「私たちの道徳」P200を範読し、生徒自身が地域と密接なつながりをもっていることを再確認させる。

- 指導上の留意点・「私たちの道徳」活用のポイント

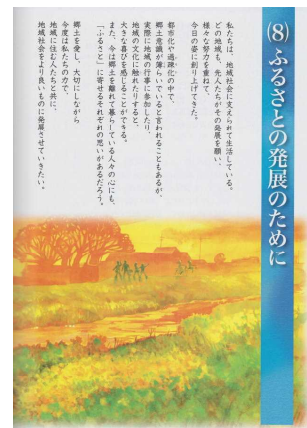
「私たちの道徳」を活用することで、自分たちは地域社会に支えられて生活していることを再確認させ、地域社会をより発展させていきたいという気持ちを高める効果がある。

(2) 展開

地区敬老会前日に、お年寄りの方々への感謝の気持ちや、これまでの地域の方との交流活動を通して感じたことをまとめた作文を生徒会長から生徒に聞かせる。

- 指導上の留意点

生徒会長の敬老会作文を通して、地域に対する思いや人々の交流の大切さを感じとらせる。



(3) 終末

「地域の大切さや地域とのつながり」というタイトルで作文を書く。

□ 指導上の留意点

作文は、コンクールに応募することを伝える。



3 実践を振り返って

全校生徒の多くが、年間を通して地域行事等に参加し、地域の方々と関わり、地域の大切さを感じていた。生徒会長の敬老会で発表した作文の内容も活動の充実ぶりが表現されており、他の生徒も素晴らしい内容の作文を書いていた。

全校生徒でその思いを共有したいと考え、ほぼ全員の作文を要約し、敬老会出席対象者約700人に配付した。敬老会へ出席されなかった方々には、近くにお住まいのお年寄りの家庭に生徒が届けた。生徒が135通配付し、届けられなかった家庭には郵送した。

全校生徒が、優しい気持ちをもち、地域を大切にするという主旨の作文を書くことができたのも、日頃から行っている地域の方との交流活動の成果である。そして、地域の先輩方への感謝の念がより一層深まり、今後の道德教育の推進や、地域の方との交流活動の活性化が期待される。

【生徒会長の敬老会で発表した作文】

今日はお忙しい中、敬老会に参加していただきまして、本当にありがとうございます。

皆様方はこれまで、多くの知識や経験を積み重ねてこられたと思います。その中でも、この仁保で、地域のために多くのことをしてくださいました。夏祭り、農業祭などの大きな行事にも、尽力してこられたと思います。そのような皆様方のお陰で、今の仁保があるのです。そして、こんな地域に生まれ育った僕たちは、本当に幸せ者だと思います。～中略～

仁保中学校では、地域の方との交流活動を行っています。僕たち生徒が、地域の行事や活動に、お手伝いやボランティアとして参加させていただき、自己有用感を味わわせていただくと同時に地域貢献をめざすものです。

～中略～

ここにいらっしゃるお一人おひとりが、いつまでもさらにお元気で、僕の大好きなこの仁保の地で、生き生きと人生を楽しんで過ごしていただきたいと、心から願っています。そして、人生の大先輩として、僕たちのよき道しるべであり続けていただくことを願っています。